

切花・鉢花の5月の見通し

切花（愛知名港花き地方卸売市場 5月1日現在）

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
輪 ぎ	実績	2020年	1, 1 2 3	4 0	
		2021年	1, 3 8 3	2 6	
		2022年	1, 0 4 4	6 9	
		2023年	1, 3 4 3	4 1	
		2024年	1, 0 4 1	6 7	
	5ヵ年平均	1, 1 8 7	4 7		
	2025年見通し	1, 1 0 0	4 5		
	概要	愛知中心の入荷。上旬は母の日参り需要が期待される。中旬頃からは夏系品種への切り替えも始まり、一時的に品種が交じり、販売も苦戦しそうだが、下旬にかけては数量も安定する見込み。			
小 ぎ	実績	2020年	9 9 7	2 6	
		2021年	8 3 6	2 0	
		2022年	8 1 1	4 4	
		2023年	8 1 3	2 5	
		2024年	6 6 2	4 4	
	5ヵ年平均	8 2 4	3 1		
	2025年見通し	7 0 0	4 0		
	概要	沖縄、愛知からの入荷。上旬は母の日参り需要が期待される。中旬以降は愛知産の施設物の出荷も始まるが、数量的には少ない見込み。全体量が減ることにより、下旬にかけて価格は安定する見込み。			
カー ネー シ ョ ン	実績	2020年	1, 4 1 0	4 7	
		2021年	1, 4 4 3	4 4	
		2022年	1, 4 1 8	5 3	
		2023年	1, 5 4 7	5 4	
		2024年	1, 6 2 2	5 6	
	5ヵ年平均	1, 4 8 8	5 1		
	2025年見通し	1, 5 0 0	5 0		
	概要	冬期の燃油高の影響もあり、遅れていた状況も4月上旬以降の暖かさから国内産地の出荷は順調となっている。母の日の輸入は前年の9割ほどの見込み。			
か す み	実績	2020年	1 7 8	5 9	
		2021年	1 8 3	8 1	
		2022年	2 2 1	7 6	
		2023年	2 5 0	7 4	
		2024年	2 0 5	9 2	
	5ヵ年平均	2 0 7	7 7		
	2025年見通し	2 1 0	8 0		
	概要	和歌山、高知、熊本からの入荷となる。4月は上旬の気温が低めに推移したため、出荷量が抑制された。5月上旬は不作であった昨年より数量多い見込み。母の日以降は緩やかに減少していく。			

単位：千本、円／本

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ゆり	実績	2020年	266	114	
		2021年	250	148	
		2022年	237	168	
		2023年	260	158	
		2024年	276	158	
	5カ年平均		258	149	
	2025年見通し		260	150	
概要	<p>オリエンタルは高知、宮崎、埼玉、新潟中心の入荷となる。母の日用の作付をしているところもあるが、限定的で多くの数量は見込めない。LAは埼玉、鉄砲は高知中心に前年並みの入荷が見込まれる。</p>				
洋らん	実績	2020年	212	92	
		2021年	272	86	
		2022年	263	116	
		2023年	252	101	
		2024年	254	113	
	5カ年平均		251	102	
	2025年見通し		250	110	
概要	<p>愛知、鹿児島、静岡、徳島などの国産及び輸入品が入荷する。デンファレはアンナと白が減少し、ソニア中心の入荷見込み。オンシジウムはGWで通関の乱れ等で入荷不安定。シンピジウムは国産は徐々に終了し、輸入待ちの状況。コショウランは国産中心に入荷は増えてくる。カトリアは愛知産中心に入荷見込み。</p>				
ばら	実績	2020年	616	69	
		2021年	740	78	
		2022年	855	89	
		2023年	895	81	
		2024年	875	84	
	5カ年平均		796	81	
	2025年見通し		820	80	
概要	<p>愛知、岐阜、三重、長野、山形からの入荷。母の日商戦では輸入の出荷があるが、例年並みを予定している。4月の暖かい気温で推移し、順調な経過となっている。</p>				
枝も	実績	2020年	924	53	
		2021年	1,097	56	
		2022年	1,209	64	
		2023年	1,204	64	
		2024年	1,141	67	
	5カ年平均		1,115	61	
	2025年見通し		1,150	60	
概要	<p>節句需要の香りショウブは順調だが、花ショウブが生産者減少に加え疫病のため、出荷量は少なめ。スモークツリーなども中旬頃から出荷が始まり、徐々に夏物に変わっていく。</p>				

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
カラ	実績	2020年	20,587	648	
		2021年	20,402	813	
		2022年	25,109	688	
		2023年	33,708	789	
		2024年	22,817	796	
	5ヵ年平均		24,525	747	
	2025年見通し		23,350	765	
概要	<p>入荷量は前年並か。例年通り5号鉢主体となるが、4号鉢以下の小鉢の出荷も増える見込み。 母の日需要の高まる5月上旬が出荷のピークとなり、最も引き合いが強くなる。 例年通り、発色の良いピンク・黄色系に人気が集まる見込み。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(74.2%)、2位埼玉(14.0%)、3位三重(8.1%)となっている。</p>				
ファレノ	実績	2020年	28,625	2,364	
		2021年	28,365	3,412	
		2022年	38,053	2,570	
		2023年	40,114	3,157	
		2024年	36,354	2,628	
	5ヵ年平均		34,302	2,826	
	2025年見通し		35,500	2,620	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。円安の影響もあり苗の輸入量が減っている。 ミディーの出荷は5月上旬に纏まっており、下旬は減る見込み。 大輪は5月を通して前年並の出荷量の見込み。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知(57.5%)、2位宮崎(8.7%)、3位静岡(6.8%)となっている。</p>				
バラ	実績	2020年	70,262	265	
		2021年	67,373	302	
		2022年	70,214	284	
		2023年	73,746	306	
		2024年	68,260	283	
	5ヵ年平均		69,971	288	
	2025年見通し		68,000	279	
概要	<p>入荷量は前年並か。例年通り5号以下の小鉢中心の動きになり、前半は中値安定との見込み。 母の日は温度変化等もあり軟調相場になる見込み。 2~3月の低温・低日照の影響で生育遅れが一部発生している。温度変化が激しくなる時期なので、咲き前と水管理に注意した出荷をお願いしたい。 前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位岐阜(45.3%)、2位愛知(25.3%)、3位愛媛(13.2%)となっている。</p>				

単位：鉢、円／鉢

品目	区分		入荷量	卸売価格	前年及び本年の入荷量・価格の動き
	実績等				
ハイ ド ラ ン ジ ア	実 績	2020年	2 3 1, 3 1 0	8 1 6	
		2021年	2 3 4, 9 3 4	9 5 8	
		2022年	2 4 6, 5 4 2	9 4 7	
		2023年	3 3 9, 4 9 9	1, 0 1 2	
		2024年	2 5 4, 8 0 5	9 5 6	
	5カ年平均		2 6 1, 4 1 8	9 3 8	
	2025年見通し		2 6 0, 0 0 0	9 3 8	
概要	<p>入荷量は前年より増加か。今年は2～3月の寒さと日照不足などで開花遅れがあるのに加え、前年は生産ロスが多かったが、現状はそこまで無く、母の日以降の下旬には前年より入荷増の見込み。</p> <p>5月中心の取扱いで褐色系の玉アジサイ・額アジサイと八重系の品種は引き合いが強い。多品種小ロット生産がより一層増えてきている。相場は前年同様で厳しい予想である。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位愛知（68.0%）、2位千葉（5.9%）、3位群馬（5.3%）となっている。</p>				
ス パ テ ィ フ ラ イ ム	実 績	2020年	1 7, 5 9 2	3 1 1	
		2021年	1 6, 2 1 7	3 4 4	
		2022年	1 3, 9 8 1	4 2 8	
		2023年	1 3, 5 6 1	3 2 5	
		2024年	1 0, 4 8 9	3 3 6	
	5カ年平均		1 4, 3 6 8	3 4 9	
	2025年見通し		8, 0 0 0	4 0 0	
概要	<p>入荷量は前年より減少か。3号ポットでの生産は減少しており、出荷は4号から6号が中心になる見込み。</p> <p>単価は入荷量の減少に伴い安定が見込まれ、ポットものが減る分、平均単価が上昇すると予測する。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで1位三重（53.6%）、2位愛知（18.5%）、3位岐阜（16.1%）となっている。</p>				
カ ー ネ ー シ ヨ ン	実 績	2020年	2 1 5, 5 6 2	5 0 2	
		2021年	2 3 7, 3 6 6	5 4 8	
		2022年	2 5 9, 7 0 9	5 4 2	
		2023年	4 0 6, 4 7 4	5 3 4	
		2024年	3 3 4, 7 3 3	5 1 1	
	5カ年平均		2 9 0, 7 6 9	5 2 7	
	2025年見通し		3 3 4, 0 0 0	5 1 2	
概要	<p>入荷量は作付け減少が要因で前年より減少か。入荷減少となるものの、順調だった通販も陰りが見え始めた事や、量販店の計画販売に採用されなかった物等は競売での販売に苦戦が強いられると思われる。</p> <p>前年5月の主要県の入荷実績は、金額ベースのシェアで埼玉が100%となっている。</p>				